

作成日 2010/04/28

改訂日 2024/04/01

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	補修用モルタル
製品コード	CE-F01-1042
供給者の会社名称	MUマテックス株式会社
住所	〒105-0023 東京都港区芝浦1-2-3 シーバンスS館
電話番号	03-5419-6206
FAX番号	03-5419-6265
推奨用途	土木、建材用途に限る
使用上の制限	土木、建材用途に限る

2. 危険有害性の要約
化学品のGHS分類

健康有害性	皮膚腐食性／刺激性 区分1 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 区分1 生殖細胞変異原性 区分2 発がん性 区分1A 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分3(気道刺激性) 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分1(呼吸器:(粉じん、ミスト)吸入) 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分2(免疫系 腎臓) 上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。
-------	--

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語	危険
危険有害性情報	H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷 H335 呼吸器への刺激のおそれ H341 遺伝性疾患のおそれの疑い H350 発がんのおそれ H372 長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器:(粉じん、ミスト)吸入の障害 H373 長期にわたる、又は反復ばく露による腎臓、免疫系の障害のおそれ
注意書き	
安全対策	粉じん／煙を吸入しないこと。(P260) 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)
応急措置	皮膚又は髪に付着した場合:直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。(P303+P361+P353) 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338) ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師の診察／手当てを受けること。(P308+P313)
廃棄	内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報
 化学物質・混合物の区別
 化学名又は一般名

混合物
 セメント混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
ポルトランドセメント	50-60%	不明	不明	不明	65997-15-1
モノ酸化マンガン	1%未満	MnO	(1)-475	既存	1344-43-0
石英	5-10%	SiO ₂	(1)-548	既存	14808-60-7

4. 応急措置

吸入した場合
 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 呼吸に関する症状が出た場合は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合
 刺激が続くようであれば、医師の診療を受けること。
 水と石鹼で洗うこと。

眼に入った場合
 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 眼の刺激が持続する場合、医師の診断・手当てを受けること。

飲み込んだ場合
 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
 口をすすぐこと。

5. 火災時の措置

適切な消火剤
 使ってはならない消火剤
 火災時の特有の危険有害性
 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

この製品自体は、燃焼しない。
 情報なし。
 それ自身には火災による危険有害性は無い。

空気呼吸器、保護眼鏡、保護手袋等を着用して消火作業をする。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
 環境に対する注意事項
 封じ込め及び浄化の方法及び機材

作業者は適切な保護具(『8.ばく露防止及び保護措置』の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
 大気拡散しないように留意する。
 流出した製品が河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。
 漏出物を描き集めて容器に回収し、後で廃棄処理する。
 大量の場合、漏洩物を回収した後、漏洩区域を大量の水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
 技術的対策
 安全取扱注意事項
 接触回避
 衛生対策
 保管
 安全な保管条件

眼、皮膚に触れないように保護眼鏡、保護手袋を着用する。
 粉塵を吸入しないように、防塵マスクなど適切な保護具を着用する。
 換気の良い場所で取り扱うこと。
 眼、皮膚との接触を避けること。
 眼や口に入ると刺激を受けることがあり、使用の際には十分気を付けること。
 内容物を故意に吸い込まないこと。
 『10. 安定性及び反応性』を参照。
 『7.取扱い及び保管上の注意』の項を遵守し、取り扱湿気を避ける。

保管場所の床は、床面に水が浸入し、又は浸透しない構造とすること。

安全な容器包装材料 情報なし

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
ポルトランドセメント	未設定	1mg/3(吸入性粉じん) 4mg/m3(総粉じん) (第2種粉じん:ポルトランドセメント)	TLV-TWA: 1mg/m3R(ポルトランドセメント)
モノ酸化マンガン	0.05mg/m3(Mnとして)	総粉塵0.1mg/m3 吸入性粉塵0.02mg/m3(Mnとして、有機マンガンを除く)	設定あり
石英	未設定	【粉塵許容濃度】(吸入性結晶質シリカ)0.03mg/m3	設定あり

	厚生労働大臣が定める濃度の基準	
	8時間濃度基準値	短時間濃度基準値/天井値
ポルトランドセメント	未設定	未設定
モノ酸化マンガン	未設定	未設定
石英	未設定	未設定

許容濃度(ACGIH)参照先: <https://www.acgih.org/>

設備対策
保護具

呼吸用保護具
手の保護具
眼、顔面の保護具
皮膚及び身体の保護具

取り扱いは換気の良い場所で行う。
防塵マスク、簡易防塵マスク
保護手袋。
保護眼鏡。
保護服、保護長靴等。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	固体
形状	粒状固体
色	灰色
臭い	無臭
融点/凝固点	1350°C
沸点又は初留点及び沸点範囲	データなし
可燃性	爆発性無し
爆発下限界及び爆発上限	データなし
界/可燃限界	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	11~13
動粘性率	データなし
溶解度	水に難溶
n-オクタノール/水分分配係数	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び/又は相対密度	2.60 - 3.00
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし
その他のデータ	水硬性

10. 安定性及び反応性		
反応性		情報なし
化学的安定性		水と反応して安定固化する。
危険有害反応可能性		標準的条件では危険な反応をしない。
避けるべき条件		水、湿気。
混触危険物質		情報なし
危険有害な分解生成物		なし
11. 有害性情報		
急性毒性	経口	急性毒性推定値から区分5とした。 JIS Z 7252に採用されていないため区分5から区分に該当しないに変更。
	経皮	毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
	吸入	データ不足のため分類できない。 (気体) GHS定義による気体ではない。 (蒸気) データ不足のため分類できない。 (粉じん・ミスト) データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性／皮膚刺激性		区分1の成分合計から、区分1とした。
眼に対する重篤な損傷性		眼区分1の成分合計から、区分1とした。
／眼刺激性		
呼吸器感受性		データ不足のため分類できない。
皮膚感受性		データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性		区分2の成分から、区分2とした。
発がん性		区分1Aの成分から、区分1Aとした。 (生殖毒性)
生殖毒性		データ不足のため分類できない。 (生殖毒性・授乳影響)
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		データ不足のため分類できない。 区分3(気道刺激性)の成分合計から、区分3(気道刺激性)とした。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		区分1(呼吸器)の成分から、区分2(呼吸器)とした。 区分1(腎臓)の成分から、区分2(腎臓)とした。 区分1(免疫系)の成分から、区分2(免疫系)とした。 区分1((粉じん、ミスト)吸入:呼吸器)の成分から、区分1((粉じん、ミスト)吸入:呼吸器)とした。
誤えん有害性		動粘性率が不明のため、分類できないとした。
石英として		
生殖細胞変異原性		In vivoでは、気管内注入によるラット肺胞上皮細胞を用いたhprt遺伝子突然変異試験で陽性、投与方法は不明であるが、マウス肺組織のhprt遺伝子突然変異試験で陰性、腹腔内投与によるマウス小核試験で陰性、ばく露方法は不明ながら、ヒトリンパ球の染色体異常試験、姉妹染色分体交換試験で陽性、ラット肺、末梢血を用いた酸化DNA傷害試験で陽性又は陰性、ラット肺上皮細胞のDNA切断試験で陽性である(SIDS(2013)、CICAD 24(2000)、DFGOT vol. 14(2000)、IARC 68(1997))。In vitroでは、哺乳類培養細胞の遺伝子突然変異試験で陽性、陰性の結果、哺乳類培養細胞の小核試験で陽性、陰性の結果、染色体異常試験、姉妹染色分体交換試験で陰性である(SIDS(2013)、CICAD 24(2000)、DFGOT vol. 14(2000)、IARC 68(1997))。以上より、ガイダンスに従い、区分2とした。
発がん性		IARC:グループ 1、日本産業衛生学会:第1群、NTP:Kに分類されていることより、区分1Aとした。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		ヒトにおいて、呼吸器、自己免疫疾患、腎臓への影響が確認されている。したがって、区分1(呼吸器、免疫系、腎臓)とした。
ポルトランドセメントとして		
皮膚腐食性／皮膚刺激性		水と接触すると強アルカリ性(pH12~13)を示すことより区分1とした。

眼に対する重篤な損傷性 ／眼刺激性	皮膚腐食性であることより区分1とした。
特定標的臓器毒性(単回 ばく露)	気道刺激性があるとの報告(ACGIH (7th, 2010))より、区分3(気道刺激性)とした。
特定標的臓器毒性(反復 ばく露)	吸入経路では、ヒトにおいて良性の塵肺症を生じ、気管支炎、呼吸困難、咳、痰、肺気腫、胸痛がみられるとの報告がある(ACGIH (7th, 2010)、DFGOT vol. 11 (1998))ことから区分1(呼吸器)とした。実験動物についての有用な情報はない。
12. 環境影響情報	
水生環境有害性 短期(急性)	(毒性乗率 × 100 × 区分1)+(10 × 区分2)+区分3の成分合計から、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
水生環境有害性 長期(慢性)	(毒性乗率 × 100 × 区分1)+(10 × 区分2)+区分3の成分合計から、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
生態毒性	データなし
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壤中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データ不足のため分類できない。
13. 廃棄上の注意	
残余廃棄物	下水、河川等へ流入することがないように厳重に注意する。 廃棄においては、関連法時並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
14. 輸送上の注意	
国際規制	海上規制情報 非該当 Marine Pollutant Not applicable Liquid Substance Not applicable Transported in Bulk According to MARPOL 73/78, Annex II, the IBC Code
国内規制	航空規制情報 非該当 陸上規制 非該当 海上規制情報 非該当 海洋汚染物質 非該当 MARPOL 73/78 附 属書II 及びIBC コー ドによるばら積み輸 送される液体物質
特別の安全対策	航空規制情報 非該当 転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。 包装容器を破損させないように注意し、直射日光や雨水に当たらない様に被覆シートをかけて輸送する。 梱包袋が破れない様に、水濡れや乱暴な取り扱いを避ける。また、荷崩れない様に取り扱うこと。 その他、『7. 取扱い及び保管上の注意』の項の記載による。

緊急時応急措置指針番号 なし

15. 適用法令

労働安全衛生法

作業環境評価基準(法第65条の2第1項)

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号～第2号別表第9)

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2第1項、施行令第18条の2第1号～第2号別表第9)

・結晶質シリカ(政令番号:165の2)

がん原性物質(安衛則第577条の2第5項、令和4年12月26日告示第371号、令和4年12月26日基発1226第4号)

・結晶質シリカ(石英)

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促

非該当

進法(PRTR法)

水質汚濁防止法

指定物質(法第2条第4項、施行令第3条の3)

大気汚染防止法

有害大気汚染物質、優先取組物質(中央環境審議会第9次答申)

労働基準法

疾病化学物質(法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号1)

じん肺法

法第2条、施行規則第2条別表粉じん作業

16. その他の情報

参考文献

JISZ7252:2019 GHSに基づく化学品の分類方法。JISZ7253:2019 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)。独立行政法人製品評価技術基盤機構(nite)「GHS関連情報」

その他

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載データや評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものですので、特別な取り扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上お取り扱い願います。